



吉田 紀美子さん

(羽沢在住)

富士見市赤十字奉仕団委員長

明るい地域社会を目指して

富士見市赤十字奉仕団は、現在、鶴瀬・水谷・南畑の三分団から成り、団員119人で構成され、富士見市長を地区長として活動しています。

赤十字奉仕団の信条

- すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

私たちはこの信条をもとに、明るく住み良い社会を築き上げていくため、さまざまな事業に奉仕の心で臨んでいます。

主な活動内容は、赤十字の理念などを普及するキャンペーン活動のお手伝いをはじめ、赤い羽根街頭募金活動への協力や献血事業に関するボランティア、行政機関などの行事に参加し、協力しています。

そのほか、特別養護老人ホームふじみ苑で入所者の洗濯物をたたんだり、むさしの作業所では花の植え替えなど軽作業を一年間にわたり、お手伝いしています。

また、奉仕団員として地域での防災訓練にも積極的に参加しています。毎年視察研修も実施しており、今年度は埼玉県防災学習センターを訪れ、いざ災害などが起きた時、自ら考え行動できるような実体験の中で学びました。

今後も人の役に立つこと、社会に貢献できることなど、人道の実現を使命とした赤十字の名のもとに、明るい地域社会を目指し活動して行きたいと思えます。

歴史・史・探・訪

ふじみ・発見!

33

市内の発掘調査⑤

正網南遺跡 第5地点

正網南遺跡は、浦和所沢バイパスからみずほ台駅方面へ向かって山王坂を上りきった武蔵野台地上に位置する遺跡です。柳瀬川を臨む台地に刻まれた谷を囲むように突き出た半島状の部分に広がっており、過去4か所の調査では住居跡などの遺構は確認できていませんでした。今回紹介する第5地点は、水子字正網の氷川神社裏側に広がる山林の一部で、平成25年6月に調査を行いました。本地点周辺では、谷を挟んだ反対の北側台地上に縄文時代後期〜晩期の遺構が多数確認されている正網遺跡が広がり、近くには湧水もあり、生活するうえで適した立地



確認された縄文時代住居跡の一部



土坑脇から出土した六文銭



と考えられることから、遺構の存在が予想される場所でした。調査の結果、縄文時代の住居跡2軒、炉穴多数、中世以降の溝跡、地下式坑、土坑などが確認できました。特に2軒の住居跡のうち1軒は、確認できた住居跡が一部分ではありましたが縄文時代後期(約4千400年前)のもの

と考えられ、土器片が多数出土しています。市内で確認される縄文時代後期の遺構は数少ないことから貴重な資料です。ほかにも旧石器時代の石器や、土坑の脇からは六文銭が出土し、埋葬施設の可能性も考えられます。今回の調査では縄文時代後期の遺跡が正網南遺跡にも新たに確認できたことは重要な成果といえます。今後の整理作業でさらに判明することがあるかもしれません。

問合せ / 生涯学習課

☎ 049-256-7023